

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年11月13日

東

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所
 コード番号 6428 URL http://oizumi.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,841	△9.0	△402	—	△560	—	△617	—
29年3月期第2四半期	6,422	△33.8	418	△71.2	354	△74.5	405	△53.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △610百万円(—%) 29年3月期第2四半期 365百万円(△57.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△27.46	—
29年3月期第2四半期	18.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	32,760	14,482	44.2
29年3月期	35,094	15,295	43.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,482百万円 29年3月期 15,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	9.0	9.0
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	11,200	△15.7	△150	—	△380	—	△530	—	—	△23.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	22,500,000株	29年3月期	22,500,000株
30年3月期2Q	4,571株	29年3月期	4,571株
30年3月期2Q	22,495,429株	29年3月期2Q	22,495,479株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢等の改善が進むなか景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主要販売マーケットとなる遊技場は、昨年12月を期限として実施した「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去を実施した後も設備投資全般に対し極めて抑制的な状況が続きました。また、「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（IR推進法）」に関連して、遊技プレイヤーのめり込み防止の視点から検討されていた「風俗営業等の規則及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検討等に関する規則の一部を改正する規則」が本年9月4日に公布され、来年2月1日に施行されることによる遊技場運営への影響を懸念し、リプレースを含む周辺設備機器に係る商談案件も先送りする状況であります。

このような状況のなか、販売提案力の強化や製品開発体制を見直し、販売管理費の削減を進めてまいりましたが、当第2四半期累計期間への効果は限定的であり、売上高及び利益は予想数値を大きく下回りました。

機器事業は、周辺設備機器部門において、メンテナンスフリーを可能にする『樹脂研磨式メダル自動補給システム』と複数の貸し玉単価にフレキシブルに対応する『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。なお、遊技機部門においては、パチスロ機の新基準機の需要が想定以上に低調傾向が続きました。このような市場環境により機器事業全体の収益は前年同期を下回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業は、神奈川、栃木両県の太陽光発電所（発電能力合計24メガワット）を順調に稼働させました。

コンテンツ事業においては、連結子会社2社/株式会社インターグロー、及びレッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行いました。

連結子会社/妙高酒造株式会社が酒造・酒販事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,841百万円（前年同期比9.0%減）、経常損失560百万円（前年同期は354百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失617百万円（前年同期は405百万円の利益）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

（機器事業）

機器事業は、当第2四半期は売上高4,537百万円（前年同期比9.1%減）、調達済みのパチスロ機製造用部材の評価損686百万円を計上してセグメント損失516百万円（前年同期は442百万円の利益）となりました。

（不動産事業）

不動産事業は、当第2四半期は売上高341百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益170百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

（電気事業）

電気事業は、当第2四半期は売上高583百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益205百万円（前年同期比32.7%増）となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業は、当第2四半期は売上高265百万円（前年同期比33.7%減）、セグメント損失8百万円（前年同期は30百万円の損失）となりました。

（その他事業）

その他事業につきましては、売上高112百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント損失8百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成29年3月31日)に比べ2,333百万円減少し、32,760百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,045百万円減少し、12,677百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少(105百万円減)、受取手形及び売掛金の減少(282百万円減)、電子記録債権の減少(803百万円減)、仕掛品の減少(501百万円減)、原材料の減少(477百万円減)、その他に含まれる未収法人税等の減少(192百万円減)及び未収消費税等の減少(110百万円減)の一方で、商品及び製品の増加(259百万円増)、その他に含まれる前払費用の増加(115百万円増)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ287百万円減少し、20,083百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少(156百万円減)、機械装置及び運搬具の減少(283百万円減)、貸倒引当金の増加(123百万円増)の一方で、長期貸付金の増加(257百万円増)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,520百万円減少し、18,277百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(628百万円減)、1年内返済予定の長期借入金の減少(167百万円減)、長期借入金の減少(676百万円減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ812百万円減少し、14,482百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少(820百万円減)によるものです。

この結果、自己資本比率は44.2%と前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,149,924	6,044,832
受取手形及び売掛金	2,009,952	1,727,596
電子記録債権	1,758,612	954,957
商品及び製品	1,050,519	1,310,503
仕掛品	1,069,831	568,675
原材料	1,618,255	1,140,353
コンテンツ	25,093	17,301
繰延税金資産	75,798	55,126
その他	968,482	860,215
貸倒引当金	△3,000	△1,890
流動資産合計	14,723,468	12,677,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,491,065	4,334,864
機械装置及び運搬具(純額)	4,782,606	4,498,972
土地	9,404,236	9,415,598
その他(純額)	245,368	185,970
有形固定資産合計	18,923,276	18,435,405
無形固定資産		
ソフトウェア	44,088	111,734
のれん	84,316	75,885
その他	12,477	12,506
無形固定資産合計	140,883	200,126
投資その他の資産		
投資有価証券	275,136	286,986
長期貸付金	611,554	869,000
繰延税金資産	23,474	25,382
長期前払費用	405,983	408,338
その他	317,851	308,642
貸倒引当金	△327,320	△450,800
投資その他の資産合計	1,306,680	1,447,549
固定資産合計	20,370,839	20,083,082
資産合計	35,094,308	32,760,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,478,149	1,850,118
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,451,938	2,284,602
未払法人税等	73,218	93,242
賞与引当金	54,144	38,319
製品保証引当金	14,000	9,000
返品調整引当金	2,018	2,628
その他	396,696	354,575
流動負債合計	6,620,164	5,782,486
固定負債		
長期借入金	11,530,018	10,853,714
リース債務	29,243	23,903
繰延税金負債	16,104	17,820
役員退職慰労引当金	513,038	517,425
退職給付に係る負債	48,609	51,581
長期預り保証金	711,380	701,767
資産除去債務	330,091	329,226
固定負債合計	13,178,486	12,495,438
負債合計	19,798,651	18,277,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,592,879	12,772,657
自己株式	△4,271	△4,271
株主資本合計	15,269,207	14,448,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,449	33,842
その他の包括利益累計額合計	26,449	33,842
純資産合計	15,295,656	14,482,828
負債純資産合計	35,094,308	32,760,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,422,466	5,841,337
売上原価	4,994,905	5,324,690
返品調整引当金繰入額	△39	610
売上総利益	1,427,600	516,037
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	107,161	107,172
販売促進費	61,535	106,602
役員報酬	116,974	106,817
給料手当及び賞与	156,977	116,601
賞与引当金繰入額	24,043	18,460
退職給付費用	18,681	6,598
役員退職慰労引当金繰入額	5,177	4,387
製品保証引当金繰入額	13,000	9,000
貸倒引当金繰入額	925	△1,388
その他	504,713	443,951
販売費及び一般管理費合計	1,009,189	918,204
営業利益又は営業損失(△)	418,410	△402,167
営業外収益		
受取利息	3,099	1,999
受取配当金	5,420	5,420
その他	25,619	14,086
営業外収益合計	34,139	21,507
営業外費用		
支払利息	50,249	44,258
貸倒引当金繰入額	22,000	128,723
その他	26,269	6,942
営業外費用合計	98,519	179,923
経常利益又は経常損失(△)	354,031	△560,583
特別利益		
固定資産売却益	—	49,352
子会社株式売却益	228,764	—
特別利益合計	228,764	49,352
特別損失		
固定資産除売却損	0	7,950
リース解約損	2,108	—
特別損失合計	2,108	7,950
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	580,686	△519,181
法人税、住民税及び事業税	77,305	81,356
法人税等調整額	97,553	17,224
法人税等合計	174,859	98,580
四半期純利益又は四半期純損失(△)	405,826	△617,762
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	405,826	△617,762

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	405,826	△617,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,194	7,393
その他の包括利益合計	△40,194	7,393
四半期包括利益	365,632	△610,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,632	△610,369
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	580,686	△519,181
減価償却費	515,993	481,199
のれん償却額	8,431	8,431
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,925	122,370
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△5,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	878	△15,825
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,292	2,972
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,177	4,387
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△39	610
受取利息及び受取配当金	△8,520	△7,420
支払利息	50,249	44,258
固定資産売却損益(△は益)	—	△49,352
子会社株式売却損益(△は益)	△228,764	—
売上債権の増減額(△は増加)	△366,407	1,090,329
たな卸資産の増減額(△は増加)	△147,832	667,269
仕入債務の増減額(△は減少)	446,952	△624,574
前渡金の増減額(△は増加)	△155,420	△90,109
その他	226,649	△36,727
小計	953,252	1,073,635
利息及び配当金の受取額	8,520	7,420
利息の支払額	△49,990	△44,276
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△195,111	135,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	716,670	1,172,423
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△635,476	△182,132
有形固定資産の売却による収入	7,511	233,108
無形固定資産の取得による支出	△2,488	△21,991
無形固定資産の売却による収入	—	3,240
貸付けによる支出	△44,000	△257,446
貸付金の回収による収入	4,999	4,999
子会社株式の取得による支出	△30,000	△1,200
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,138,481	—
その他	△7,612	△10,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	431,416	△231,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,035,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△2,951,408	△1,343,640
配当金の支払額	△201,949	△202,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,118,357	△1,045,860
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,729	△105,092
現金及び現金同等物の期首残高	6,957,080	6,149,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,986,809	6,044,832

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	4,991,509	347,903	569,593	401,025	112,433	6,422,466	—	6,422,466
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,080	—	52,821	314	75,216	△75,216	—
計	4,991,509	369,983	569,593	453,847	112,748	6,497,683	△75,216	6,422,466
セグメント利益又は損失(△)	442,560	166,125	155,003	△30,330	△20,404	712,954	△294,543	418,410

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益の調整額△294,543千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました、株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの減少額は、報告セグメントから除外した「福祉介護事業」における226,921千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため連結の範囲から除外したことに伴い、同社が運営する「福祉介護事業」を報告セグメントから除外いたしました。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	4,537,693	341,821	583,883	265,688	112,250	5,841,337	—	5,841,337
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	23,370	—	25,326	275	48,972	△48,972	—
計	4,537,693	365,191	583,883	291,015	112,526	5,890,310	△48,972	5,841,337
セグメント利益又は損失(△)	△516,957	170,925	205,711	△8,726	△8,180	△157,227	△244,939	△402,167

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益の調整額△244,939千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。